

受章者名簿

(敬称略)

功 勞 表 彰

氏 名	功 勞 内 容
塚 田 正 平	平成15年から1期4年間、平成23年から2期8年間にわたり町議会議員を務められ、議会正副議長、監査委員、社会文教常任委員会委員長、総務文教常任委員会副委員長、広報発行対策特別委員会委員長、高速交通網対策特別委員会副委員長等の要職を歴任し、地方自治の振興と町発展に尽力された。
塚 田 忠	平成15年から4期16年にわたり町議会議員を務められ、総務産業常任委員会副委員長、産業建設常任委員会副委員長、社会常任委員会副委員長、高速交通網対策特別委員会委員長、地域交通網対策特別委員会委員長等の要職を歴任し、地方自治の振興と町発展に尽力された。

功 績 表 彰

氏 名	功 績 内 容
宮 下 和 久	平成23年6月から平成31年4月までの7年余にわたり坂城町副町長を務められ、町長を補佐し、地方自治の振興と町発展に尽力された。
塩 入 弘 文	平成23年から2期8年にわたり町議会議員を務められ、議会運営委員会委員長、議会改革等特別委員会正副委員長、広報発行対策特別委員会副委員長、地域医療対策特別委員会副委員長等の要職を歴任し、地方自治の振興と町発展に尽力された。
関 口 文 昭	平成23年から8年にわたり、町内3児童館長、また総括館長として、放課後における児童の適切な遊びや生活の場として、子どもたちが楽しく過ごすことができる児童館の運営に取り組みられ、児童の健全育成に尽力された。
西 沢 正 和	平成8年から23年間にわたり、町消防団第5分団員として、副分団長、分団長も務め、地域における防災活動に尽力された。
吉 原 直 樹	平成10年から21年間にわたり、町消防団第9分団員として、副分団長も務め、地域における防災活動に尽力された。
青 木 進 也	平成11年から20年間にわたり、町消防団第4分団員として、分団長も務め、地域における防災活動に尽力された。

坂城WAZAパワーアップ事業表彰

坂城町では、町に培われてきた高度な技能・技術の継承と修得、子どもたちへの「ものづくり教育」支援、新技術・新産業の創出や発明に対する支援など、子どもから大人まで、技能を尊重する機運をつくる「坂城WAZAパワーアップ事業」を実施しています。

この表彰は、その一環として、ものづくり分野における優秀な技能者及び新技術の創出などをされた方を表彰するものです。

卓越技能者表彰

(敬称略)

氏名	技能功績内容
株式会社 桜井製作所 宮本敏彦	県内でも数少ない、国家検定一級金型製作技能士（金型製作：プレス金型製作作業）として活躍。プレス金型製作全般に関する深い知識と高い技能を有し、ミクロン単位の製品精度が要求される金型製作において、短期間かつ高精度に製作することができるエキスパートである。取引先からの信頼も厚く、納期の短縮と、製品の品質向上に果たしている功績は極めて大きい。 後進の指導育成では、基本知識から始まり、現場での実践的な指導を通して技術の伝承を行っている。より良い指導を行えるようにと、職業訓練指導員（機械科）免許を取得するなど、後進の指導育成のための努力を続ける姿勢は真に他の模範である。
株式会社 西澤電機計器 製作所 北沢進	長年の経験で培った、ものづくりの知識と技術を駆使し、完成度の高い試作品を作る技能を有する。詳細な完成品をイメージし、細部の構造から材料の選択まで、設計図がない状態からでも、完成品に近い試作品を作ることができ、量産化までの期間短縮・コスト削減に多大な貢献をしている。 信州大学が解明した「人がページをめくる指の動き」を原型に、産学官連携で商品化に取り組んだ『自動ページめくり器 ブックタイム』開発においても、試作を担当して商品化が実現。『ブックタイム』は、中小企業庁の『今年のロボット大賞2008』において『最優秀中小・ベンチャー企業賞』を受賞した。

新技術・発明表彰

(敬称略)

氏名	新技術・発明内容
株式会社 竹内製作所 糸内健吾 清水宏一 小林佑太 奥谷俊平 渡辺貴広	油圧ショベルにおいて、使用頻度の異なる油圧ポンプを別々の電動モータで駆動させ、ショベルが旋回しない時は、ショベルを旋回させる油圧ポンプを駆動させるための電動モータを自動で制御する、「油圧ショベルの油圧駆動装置」を開発し、特許を登録した。 この特許技術により、電動モータで消費されるエネルギー（電力）をこれまでより約2割削減、より少ない電力での長時間稼働が実現し、油圧ショベルの省エネルギー化に成功した。 電気エネルギーは排出ガスが出ないため、今後、屋内やトンネル内での工事等、世界的に需要の拡大が見込まれ、飛躍的な発展が期待される。会社の発展に多大な貢献であるとともに、地球の環境保護に寄与するものである。